

事例 7-9

取組名	川東アウトドアパーク整備事業		
町会名	かんばやしかわひがし 神林川東町会（神林地区）	町会 データ	・人 口／533 人 ・世帯数／215 世帯 ・高齢化率／33.0％ ・町会加入数／151 世帯 ・常会数／5 常会 ・隣組数／19 班
取組概要	○ 公民館中庭をアウトドアパークとして整備 ○ 築山に野芝を敷設するほか、バーベキュー（BBQ）ピット、ピザ窯を設置し、住民の交流及び防災拠点として活用		

背景・課題

- 近年、屋敷跡地に 12 戸の分譲住宅地が開発され、多くの子育て世代が町会に加入したが、町会行事への参加は少ない状況であった。

経過・取組内容

- 町内公民館の新築を機に、公民館中庭の整備を検討。鎖川右岸に近接した自然あふれる立地環境を生かした「川東アウトドアパーク整備事業」を計画し、市地域チャレンジ応援事業補助金を活用することとした。
- 事業の目的は、公民館の利用促進、子どもたちの育成支援、災害時の避難場所としての活用とした。
- 整備に当たっては、町会内でボランティアを募集し、「川東アウトドアパーク整備プロジェクト」（総勢 13 名）を立ち上げて、次の作業を行った。
 - ① 築山整備（階段、庭石、野芝敷設）
 - ② BBQピット整備（U字溝対応）
 - ③ ピザ窯製作（ドーム型、レンガ積み）
- R 7. 8 月にピザ窯お披露目会兼試食会を実施。予約方法や利用に関するルール等を整備し、9 月に正式オープンした。
- 10 月、神林地区まちづくり協議会による「みんなのえんがわ」事業を実施した際には、打上げ兼 BBQ 会場として利用した。
- 当日はイベントスタッフ約 30 名と一般参加者約 60 名が参加し、大盛況であった。

成果・今後の展望等

- 身近な公民館を活用することで、子どもから高齢者まで多世代が交流する場ができた。
- アウトドアを絡めたイベントの実施により、子育て世代の町会活動への関わりを促すことができた。
- 役員だけでなく、募集に応じた運営ボランティアの手作りで取り組んだことで、幅広い世代、多様な住民の参画機会が生まれた。



川東アウトドアパークの

【ポイント】

- ▼ 住民の交流拠点を整備し、多世代交流や子育て世代の町会参加を促進
- ▼ 役員だけでなく、皆で知恵を出し合うことで、町会内の一体感を醸成